

合併特例債の使い道は？

平成18年度から平成27年度までの10年間で道路の整備や学校の耐震化などに約126億円を活用しています。

合併特例債とは？

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

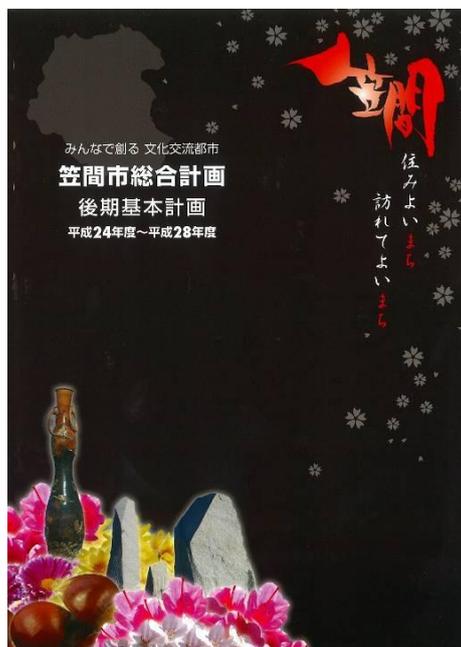
合併特例債は、事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、また、将来支払う返済金の70%が普通交付税によって補填されるという、非常に有利な財源となっています。

どうして借り入れるの？

その年度の支出は、その年度の収入によってまかなうことが原則ですが、1年間の収入だけでは公共施設を建設するための多額の経費をまかなうことができない場合もあるため、地方債を借り入れます。また10年、20年と長い期間利用される公共施設は、現在の住民と将来の住民とで建設にかかる経費を負担し合うことで、世代間の公平性を図るという性質もあります。

合併特例債などの地方債に安易に依存すると、結果的に将来の負担が増大してしまう恐れがあります。このため将来の財政運営を十分に見通したうえで、合併後のまちづくりとして真に必要な事業を厳選し、地方債の活用を慎重に検討していくことが大切です。

笠間市では、約322億円の合併特例債の活用が可能ですが、合併協議会においてこれをすべて活用するのではなく、新しい笠間市の総合計画に基づいた事業で、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現するため特に必要な事業のうち、真に必要なものを厳選し活用することとしました。



笠間市総合計画
(後期基本計画)

いつまで活用できるの？

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10カ年度（笠間市では平成27年度まで）に限られていましたが、震災によって被災した特定被災地区については期限を延長することができるようになりました。

笠間市においても財政上有利な合併特例債を活用するため、平成37年度まで延長しました。



平成18年度の使い道は？

合併により新しい笠間市が平成18年3月19日に誕生し、平成18年度から、旧市町を結ぶ道路や岩間駅周辺整備、老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などへの活用がスタートしました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
 - 友部1級12号線 7,400万円
 - 大洲飯田線 2,500万円
 - 南友部平町線 2,300万円
- ・都市整備事業
 - 岩間駅周辺整備 8,550万円
- ・学校施設等整備事業
 - 友部中学校校舎耐震補強 2億6,160万円

平成18年度は、これらの事業などで合計5億2,010万円を活用しました。



市道友部1級12号線（平町・矢野下地内）

平成19年度の使い道は？

前年度から実施していた友部中学校の耐震補強や岩間駅周辺整備に活用しました。またこの年は、市内小中学校8校のトイレ整備（洋式化）などにも活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
 - 友部1級12号線 1億1,110万円
 - 大洲飯田線 7,680万円
 - 岩間八郷線 5,540万円
- ・都市整備事業
 - 岩間駅周辺整備 2億1,750万円
- ・学校施設等整備事業
 - 友部中学校校舎耐震補強 3億2,740万円
 - 小中学校トイレ 3,300万円

平成19年度はこれらの事業などで合計10億6,770万円を活用しました。

平成20年度の使い道は？

南小学校の児童クラブ整備や市民センターいわま内への子育て支援センター・公民館・図書館等の整備に活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
 - 友部1級12号線 1億1,990万円
 - 友部2級10号線 9,970万円
- ・都市整備事業
 - 岩間駅周辺整備 3億9,990万円
- ・学校施設等整備事業
 - 岩間中学校校舎 3億 310万円
- ・その他
 - 市民センターいわま整備 4,680万円
 - 南小児童クラブ整備 2,610万円

平成20年度はこれらの事業などで合計14億9,320万円を活用しました。

平成21年度の使い道は？

前年より実施していた、道路整備や岩間中学校校舎整備、林道本戸前山線整備などに活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
 - 岩間八郷線 1億6,710万円
 - 南友部平町線 1億5,930万円
- ・都市整備事業
 - 岩間駅周辺整備 1億9,370万円
- ・学校施設等整備事業
 - 岩間中学校校舎 4億1,730万円
- ・その他
 - 宍戸小児童クラブ整備 1,910万円
 - 林道本戸前山線 1,140万円

平成21年度はこれらの事業などで合計17億9,110万円を活用しました。



舗装された林道本戸前山線

平成22年度の使い道は？

南友部平町線や友部1級5号線などの道路整備や岩間駅周辺整備、笠間小学校の耐震補強などに活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
南友部平町線 1億3,380万円
友部1級5号線 4,210万円
- ・都市整備事業
岩間駅周辺整備 1億9,770万円
- ・学校施設等整備事業
笠間小学校校舎耐震補強 1億2,320万円
岩間中学校校舎 7,340万円

平成22年度はこれらの事業などで合計8億4,920万円を活用しました。



岩間中学校の新校舎

平成24年度の使い道は？

来栖本戸線等の道路整備、笠間学校給食センター整備、岩間駅周辺整備や笠間市民体育館整備などに活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
来栖本戸線 6,740万円
- ・都市整備事業
岩間駅周辺整備 4億1,790万円
- ・学校施設等整備事業
笠間学校給食センター 7億7,910万円
- ・その他
まちづくり振興基金積立 4億7,500万円
笠間市民体育館大規模改修 6,510万円

平成24年度はこれらの事業などで合計21億8,190万円を活用しました。



岩間駅駅舎・自由通路

平成23年度の使い道は？

笠間中学校の耐震補強、児童館の整備に活用しました。また、この年から、合併特例債を活用したまちづくり振興基金への積立が始まりました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
南友部平町線 6,860万円
笠間小原線(桂町工区) 3,930万円
- ・都市整備事業
岩間駅周辺整備 1億2,900万円
- ・学校施設等整備事業
笠間中学校校舎耐震補強 8,710万円
- ・その他
まちづくり振興基金積立 4億7,500万円
児童館整備 1億1,170万円

平成23年度はこれらの事業などで合計11億3,380万円を活用しました。

平成25年度の使い道は？

狭あい道路整備、岩間駅東大通線延伸部整備、北山公園散策路整備(新池)等に活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
狭あい道路 6,420万円
- ・都市整備事業
岩間駅東大通線延伸部 7,310万円
笠間稲荷門前通り 5,020万円
- ・学校施設等整備事業
笠間学校給食センター 2,980万円
- ・その他
まちづくり振興基金積立 4億7,500万円
北山公園散策路整備(新池) 1,690万円

平成25年度はこれらの事業などで合計10億5,750万円を活用しました。

平成26年度の使い道は？

前年からの継続事業のほか、友部1級7号線（美原）、友部駅周辺整備（地区道路）、地域交流センター整備、笠間芸術の森周辺整備、認定こども園整備などの新たな事業にも活用しました。

○主な活用事業

・道路整備事業	
南友部平町線	5,530万円
笠間小原線(桂町工区)	3,280万円
友部池野辺線(池野辺工区)	2,090万円
・都市整備事業	
岩間駅東大通線延伸部	6,940万円
笠間地区市街地浸水対策	2,130万円
笠間稲荷門前通り	2,020万円
・学校施設等整備事業	
笠間中学校部室棟	2,020万円
笠間二小屋内運動場	1,970万円
・その他	
まちづくり振興基金積立	2億6,600万円
認定こども園整備	1,400万円
北山公園整備	120万円
地域交流センター整備	100万円

平成26年度はこれらの事業などで合計8億6,300万円を活用しました。



地域交流センター【イメージ図】



北山公園散策路

平成27年度の使い道は？

前年からの継続事業である笠間小原線（桂町工区）、笠間地区市街地浸水対策、認定こども園整備等のほか、笠間中学校武道場建設、岩間第一小学校校舎改修などの新たな事業にも活用しました。

○主な活用事業

・道路整備事業	
笠間小原線(桂町工区)	5,450万円
友部池野辺線(池野辺工区)	4,290万円
来栖本戸線	3,210万円
・都市整備事業	
笠間地区市街地浸水対策	6,610万円
岩間駅東大通線延伸部	5,270万円
友部駅周辺整備(地区道路)	3,820万円
・学校施設等整備事業	
笠間中学校武道場建設	1,020万円
岩間第一小学校校舎改修	490万円
・その他	
認定こども園整備	9億1,070万円
地域交流センター整備	1億7,600万円
地域医療センター整備	2,230万円
北山公園バーベキュー場整備	1,110万円

平成27年度はこれらの事業などで合計16億3,600万円を活用しました。



かさまこども園



岩間駅東大通線

平成28年度の使い道は？

前年からの継続事業のほか、認定こども園整備、地域交流センター整備、地域医療センター整備などに活用する予定です。

○主な活用事業

- ・道路整備事業

友部2119号線	8,360万円
南友部平町線	5,070万円
笠間2237号線 (国道355号負担金)	5,050万円
- ・都市整備事業

友部駅周辺整備	1億1,340万円
岩間駅西地区整備	9,740万円
笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備	9,170万円
- ・学校施設等整備事業

笠間中学校武道場建設	2億4,460万円
岩間第一小学校校舎改修	1億2,290万円
- ・その他

認定こども園整備	6億 150万円
地域交流センター整備	4億2,390万円
地域医療センター整備	3億2,490万円
笠間公民館リニューアル整備	2億9,690万円

平成28年度はこれらの事業などで合計30億2,890万円を活用する予定です。



稲田地区認定こども園【イメージ図】



地域交流センターいわま【イメージ図】

今後の使い道は？ (平成29年度～)

現在まで進めてきた幹線道路の整備事業や、地域医療センター整備、笠間公民館リニューアル事業、小学校校舎エアコン設置などに活用する予定です。

○主な活用事業

- ・道路整備事業

来栖本戸線	1億6,920万円
友部2級5号線(随分附)	1億 720万円
南友部平町線	9,510万円
狭あい道路整備	8,080万円
- ・都市整備事業

友部地区(八雲)浸水対策	1億2,360万円
友部駅周辺整備(地区道路)	2,770万円
- ・学校施設等整備事業

小学校校舎エアコン設置	1億4,990万円
-------------	-----------
- ・その他

地域医療センター整備	4億6,950万円
笠間公民館リニューアル整備	4億4,880万円
市民センターいわま整備	3億5,150万円
地域交流センター整備	1億1,500万円



地域医療センター【イメージ図】



笠間公民館

《 合併特例債活用事業一覧 》

○道路整備事業 52億1,900万円

事業名	事業年度	事業費	総借入額（予定含む）
笠間小原線	H18~H20	1億7,800万円	8,450万円
友部1級3号線	H18~H21	3億5,600万円	1億6,910万円
友部1級12号線	H18~H21	9億1,970万円	4億2,430万円
岩間1級12号線	H18~H21	1億7,530万円	9,680万円
岩間八郷線	H18~H21	5億2,130万円	2億7,380万円
友部池野辺線	H18~H22	5億5,070万円	2億6,890万円
友部2級10号線	H18~H22	5億2,430万円	2億5,180万円
大淵飯田線	H18~H22	5億8,790万円	2億8,990万円
上町大沢線	H18~H25	4億9,790万円	3億 300万円
南友部平町線	H18~H30	12億4,890万円	7億3,730万円
来栖本戸線	H19~H30	11億9,800万円	5億5,740万円
友部1級11号線	H21	3,900万円	1,660万円
荒町駅前線	H21	3,500万円	1,490万円
才木友部線	H21~H22	2億2,020万円	9,410万円
友部1級8号線	H21~H22	6,310万円	2,680万円
寺崎飯田線	H21~H23	6,300万円	2,700万円
友部1級5号線	H21~H27	3億7,060万円	1億6,070万円
笠間小原線(桂町工区)	H21~H28	7億1,860万円	3億760万円
友部2級6号線	H22~H25	1億3,090万円	5,690万円
狭あい道路整備	H22~H30	6億670万円	3億680万円
友部2級11号線	H23~H24	2,850万円	1,210万円
友部1級11号線	H23~H25	9,470万円	4,170万円
市道(笠)2336号線 (ギャラリーロード)	H23~H27	1億5,560万円	1億1,750万円
岩間八郷線(山根工区)	H25~H27	1億3,350万円	5,740万円
友部2119号線	H25~H28	2億2,350万円	9,780万円
友部池野辺線(池野辺工区)	H25~H27	8,440万円	8,010万円

事業名	事業年度	事業費	総借入額（予定含む）
友部2級5号線	H25~H29	4億7,110万円	2億350万円
友部1級7号線	H26~H27	8,160万円	3,550万円
友部1級11号線（矢野下工区）	H27~H29	1億2,400万円	5,470万円
笠間2237号線 （国道355号負担金）	H28	5,320万円	5,050万円
計		104億5,520万円	52億1,900万円

○都市整備事業

29億6,980万円

事業名	事業年度	事業費	総借入額（予定含む）
岩間駅周辺整備	H18~H24	23億6,620万円	16億4,120万円
稲田駅前トイレ	H20~H21	1,000万円	950万円
岩間駅東大通線延伸部	H21~H27	7億700万円	3億1,900万円
岩間公共広場	H22	780万円	330万円
岩間駅東土地区画整理	H22~H25	1億4,980万円	6,380万円
笠間地区市街地浸水対策	H23~H27	2億3,610万円	1億6,390万円
笠間稲荷門前通り	H24~H27	3億1,010万円	1億3,660万円
友部駅周辺整備（地区道路）	H26~H30	3億1,310万円	2億300万円
笠間芸術の森公園周辺整備	H26~H27	1億610万円	4,060万円
友部地区（八雲）浸水対策	H27~H30	1億7,910万円	1億7,010万円
岩間西地区整備	H27~H28	1億3,100万円	1億490万円
笠間市公園施設整備	H27	3,660万円	2,220万円
笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備事業	H28~H29	1億8,510万円	9,170万円
計		47億3,800万円	29億6,980万円

○学校施設等整備事業 31億8,970万円

事業名	事業年度	事業費	総借入額（予定含む）
友部中学校校舎耐震補強	H18~H19	8億 550万円	5億8,900万円
小中学校トイレ	H19	3,480万円	3,300万円
友部中学校屋内運動場耐震補強	H20	4,150万円	2,190万円
岩間中学校校舎	H20~H22	13億9,170万円	7億9,380万円
友部第二小学校屋内運動場耐震補強	H21	3,710万円	560万円
穴戸小学校校舎耐震補強	H22	730万円	690万円
笠間小学校校舎耐震補強	H22	2億2,510万円	1億2,320万円
岩間第三小学校屋内運動場耐震補強	H22	4,090万円	2,700万円
笠間中学校校舎耐震補強	H22~H23	1億5,410万円	9,750万円
友部第二小学校校舎耐震補強	H23	890万円	840万円
稲田小学校校舎耐震補強	H23	840万円	790万円
笠間学校給食センター	H23~H25	9億3,040万円	8億2,280万円
穴戸小学校屋内運動場耐震補強	H25	4,690万円	4,360万円
稲田小学校屋内運動場耐震補強	H25	1,410万円	1,100万円
岩間中学校部室棟	H25~H26	5,040万円	3,020万円
岩間第二小学校屋内運動場耐震補強	H26	2,080万円	1,970万円
岩間第一小学校校舎改修	H27~H28	1億9,680万円	1億2,780万円
笠間中学校武道場整備	H27~H28	2億8,570万円	2億5,480万円
小学校校舎エアコン整備	H28~H29	2億5,340万円	1億6,560万円
計		45億5,380万円	31億8,970万円

○その他

64億6,440万円

事業名	事業年度	事業費	総借入額（予定含む）
市民センターいわま整備	H20	5,250万円	4,680万円
小学校児童クラブ整備	H20~H21	6,570万円	4,520万円
林道本戸前山線整備	H20~H21	5,180万円	2,450万円
児童館整備	H22~H23	1億4,350万円	1億1,410万円
北山公園散策路整備（新池）	H23~H25	7,690万円	3,300万円
まちづくり振興基金積立	H23~H26	17億8,000万円	16億9,100万円
友部公民館石綿除去	H24	570万円	360万円
笠間市民体育館整備	H24	2億240万円	6,510万円
北山公園バーベキュー場整備	H25~H27	2億1,380万円	1億4,180万円
地域交流センター整備	H26~H29	13億4,970万円	7億1,590万円
認定こども園整備	H26~H28	16億2,030万円	15億2,620万円
地域医療センター整備	H26~H29	10億910万円	8億1,670万円
児童クラブ整備 （笠間小・北川根小）	H28	2億3,610万円	1億3,140万円
市民センターいわま整備	H28~H29	3億8,260万円	3億6,340万円
笠間公民館リニューアル	H28~H29	7億8,500万円	7億4,570万円
計		79億7,510万円	64億6,440万円

合計	277億2,210万円	178億4,290万円
----	-------------	-------------

現在までに事業を予定しているものを掲載しています。今後事業を開始するものについては、来年度以降、順次追加掲載します。

<p>○合併特例債起債可能上限額 笠間市の上限額 約322億円 現在の借入（予定）額 約178億円 （まちづくり振興基金への積立額を含む） ※現在予定している借入の総額です。 起債可能上限額の約55%となります。</p>	<p>○まちづくり振興基金への積立 笠間市の上限額 約26億7,000万円 現在の予定額 約17億8,000万円 （積立上限額の約67%となります。） 積立金額のうち合併特例債活用額 16億9,100万円</p>
---	---